

2024 年度 個人研究実績・成果報告書

2025 年 4 月 25 日

所属	国際教養学部	職名	教授	氏名	柏木 将宏
研究課題	情報基盤の構築・運用および先進的な利用環境の開発・実践				
研究キーワード	教育工学、情報リテラシー、ICT活用、メディア活用	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	4. 質の高い教育をみんなに	該当なし	該当なし	該当なし	

1. 研究成果の概要

これまで取り組んで来た、本学情報基盤の構築、運用における情報システム、情報セキュリティ、ユーザ支援などに関わる諸活動と共に、その下でのICTに関する先進的な教育・研究環境の開発とアクティブラーニングなどによる実践に関し広範に取り組んでいます。例として、情報基礎教育については、学生のPC必携化のための情報基盤環境および教室環境の整備拡充を進め、また現行及び新カリキュラムにおける基盤教育機構における教育内容の充実と実現に努めるべく活動を進めました。また、ICTとメディア活用に関しては、学内ネットワーク放送の定期的なコンテンツ制作及び放送の実践活動が再開されています。

2025年度からの新カリキュラム実施準備としての活動を通じて、次世代の初年次基礎教育に関わる活動が取り組みの大きな比重を占めました。成果物として、これまでの「情報入門」を発展させ、アカデミックスキル及び情報リテラシーの導入教育の科目として「アカデミックリテラシー」というコンセプトを確立し、新カリキュラムの全学初年次必修科目として設計・実装を行いました。これは、面接形式とオンデマンド型遠隔形式の組み合わせによる全学必修科目であり、CUC PORTALのLMS機能を高度に活用する内容となっています。また、このための全学共通教材制作は、これまでに引き続いて「情報教材開発プロジェクト」で取り組み、『千葉商科大学「アカデミックリテラシー」2025』が刊行されました。

科学研究費補助金による研究活動の5年目は、引き続き本学の標準LMS環境で得た遠隔授業の実施やその効果に関するデータの収集、整理につとめ、研究会や学習行動の集計等を実施しました。最終年度として蓄積されてきた情報の俯瞰的な分析につとめ、その成果は、上記の新カリキュラムにおける全学初年次必修科目の設計、実装に活用されています。

2. 著書・論文・学会発表等

(できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載)

【論文 (査読あり)】

【著書・論文 (査読なし)】

全学初年次必修の導入教育用共通教材として『千葉商科大学「アカデミックリテラシー」2025』(ワーキンググループ代表)の制作を行いました。

【学会発表等】

3. 主な経費

ソフトウェアライセンス、PC周辺機器、音響関係機材、映像記録用機材周辺機器など、上記諸活動において必要となる汎用的な物品およびパーツ、消耗品の購入、書籍代、学会費など。

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

令和2（2020）年度の科学研究費補助金基盤研究（C）へ「情報基礎教育における実践を通じた理論獲得のモデルに関する研究」の研究課題名で代表者として応募申請を行い採択されています（20K03102、令和2年度～令和6年度、4,290千円）。